

# 素屋根解体工事

・素屋根の解体を行いました 2021. 5. 10

屋根・漆・彩色・鍔金具の各修復工事が完了したため、唐門を覆っていた素屋根の解体作業が行われました。

まず、素屋根周囲に張られた防災メッシュシートと屋根板を取り外し、その後、徐々に内部の足場や骨組みを解体していきました。屋根を構成していた巨大なトラス<sup>※1</sup>は、クレーンで地上に降ろしてから番線<sup>※2</sup>を切って分解しました。

素屋根が解体され、修復された唐門が約3年ぶりに姿をあらわしました。この後は基壇部分に敷かれている敷瓦の修復を行っていきます。

※1 トラス: 構造物の骨組みの形式のひとつで、三角形を基本に部材を結合したものです。

※2 番線: 太い針金で工事現場で足場の結束に使います。昔は蔓(つる)や縄が使用されていたそうです。



▲ 素屋根解体前の唐門



▲ シート取り外し作業



▲ 屋根板取り外し作業



▲ クレーンを使用した作業



▲ 素屋根内部の様子



▲ トラスの分解作業



▲ 素屋根解体後の唐門